

テーマ

〈配慮〉

九州大学大学院芸術工学研究院社会包摂デザイン・イニシアティブでは今年度、「社会包摂デザイン研究会」として、社会包摂とデザインの関係を考えるうえで重要な言葉について、専門性を超えて議論する場をひらいています。今回のテーマは「配慮」という言葉について議論を交わすことを通じて、「配慮」に対する新たなデザインのアプローチが生まれればと思います。

後半には質疑応答の時間も準備しています。

オンラインでの開催となりますので、お気軽に聴講ください。

◆開催日時◆

2022年11月28日(月)18:30~20:30

◆開催形式

YouTube 配信 (大橋キャンパスデザインコモン2Fからの配信。対面での参加も30名まで可能)

◆講演プログラム

18:30 開会、会の主旨説明【長津結一郎 (アートマネジメント、障害学)】

18:45 講演

講演1 「行政からみる〈配慮〉」

梶原慶子

(一般社団法人hare to ke lab 代表理事、行政職員)

講演2 「色覚多様性からみる〈配慮〉」

須長正治

(色彩・視覚科学)

講演3 「音響デザインからみる〈配慮〉」

高田正幸

(音響デザイン学、音響環境学)

講演4 「人文学からみる〈配慮〉」

増田展大

(映像メディア論、視覚文化論)

19:25 クロストーク

20:10 質疑応答

20:30 閉会

◆募集要項◆

対象者：社会包摂やデザインに興味関心がある方

(参加無料。以下 URL か OR コードより**事前登録が必要**です)

URL : <https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/231>



◆主催 九州大学大学院芸術工学研究院附属社会包摂デザイン・イニシアティブ

◆共催 九州大学大学院芸術工学研究院附属デザイン基礎学研究センター



Design Initiative for
Diversity & Inclusion
社会包摂デザイン・イニシアティブ